Challenge News

【チャレンジニュース】

2015
No.86
1月号

作：荒木　裕貴さん
オーパスグループ所属

10年目の集い・内部研修紹介

職員奮闘記（人見支援員・津田支援員）

送迎スタッフの役割・第10回めいとくフェスタ

10年目の集い

今年で、チャレンジめいとくの里も10年目を迎えることになりました。
そこで、10年目を記念して、6月21日（土）にニュースカイホテルにて
ご利用者様・ご家族・職員、総勢230名で10年目の集いを開催いたしました。
今後とも施設運営につきまして皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

Meitoku

内部研修紹介

当施設では、隔月土曜日に内部研修（権利擁護・感染対策等）を実施しております。更に、対象者を新人職員や日直を担当する支援員等に絞った研修も含め、今年度は「行動障がい」の勉強会について、外部講師をお招きしています。そこで、研修の一部をご紹介いたします。

☆行動障がいの勉強会☆

月に一度、自主研修として18時30分から勉強会を実施。また、特定のご利用者様をモデルケースにして、一年を通して生活面・活動面を見直し過ごしやすい環境が提供できるよう思考錯誤しています。

行動障がいの方の行動を分析し、行動を読み取る力を身に付けることで行動の意図や訴えたいことを迅速に把握することができ、適切な支援や安心できる環境にできればと思っています。

☆服薬研修☆

服薬の研修は定期的に実施しており、誤薬の危険性や服薬時の留意点等を、新人職員を中心に行っています。実際に服薬ロールプレイをして、錠剤・散剤など（ラムネ・砂糖を疑似薬として使用）の飲みづらさや与薬のタイミング等をご利用者様の立場になり実体験することで、改めて服薬の難しさを感じることができます。

また、看護師から誤薬の事例を聞くことで、与薬時の責任感を認識することができます。

職員奮闘記

人見 友香支援員
勤務年数：3年目
きらりグループ
サブリーダー

入職して3年目になります。今回、奮闘記を書かせて頂くということで改めて自分の事を振り返った次第です。

私がこの仕事に就くきっかけですが、育ってきた環境が大きかったなと今は感じています。元々、障がいのある方に関わる仕事をしていた両親の元、運動会や様々な販売会に連れて行って貰っていました。急に話しかけてくる人もいるんだな、何で同じことを何回も言うんだろうと幼いなりに感じることは色々ありましたが、関わることは楽しいことだよ、障がいがあっても自分と同じように楽しいという気持ちや悲しみがあるんだよと、仕事を楽しむ姿をもって両親が教え続けていてくれたように思います。そんな日々を過ごしてきましたが、大学に入学するまでは他にも海外や音楽、英語に興味を持ち過ごしてきました。それでも人に関わる仕事をしたいという思いはずっとあった為、高校卒業時に障がいについて勉強しようと心に決め、大学に進みました。

大学に入学してからは障がいについての勉強と経験一色だったなと思います。サークル活動や放課後の学習支援を通して関わる中で「支援するとは何か」と、本気で語り合う友人も多く出来ました。どの仕事に就くかは最後まで迷いましたが、成人の方や就職を間近に控えた方の支援にあたることが多かった為、この道を選びました。そして、現在に至ります。

入職してからは分からないことも多く、自分の力量のなさ、相手への理解が不足していたことなどに情けなくなり、支援するって何だろうと葛藤と悔しさでいっぱいになる日々でした。そんな中でもご利用者様とコミュニケーションが取れた時、笑顔が見られた時や思わず笑ってしまうような一面を見ることができた時は仕事が楽しく、次の日の意欲に繋がりました。

現在、きらりグループに所属し3年目になります。きらりグループのご利用者様は様々なルールやこだわりを持つ方がおられますが、それぞれ個性的で毎日素敵な一面を見せてくださいます。時々、私たちの概念をも飛び越え、思いもよらない発言や行動をされることもあり、私自身、はっとさせられることもあります。難しい、分からないと思う時もありますが、今はそんなご利用者様の姿も楽しく、何かきっと道がある、理由があると考えられるようになりました。今はめいとくの里で一番好きなグループです。

1年目の自分と3年目を振り返って大事だなと感じていることは支援しなきゃ、上手くいかなきゃというこちらの焦った一方的な考えではなく、まずは関係性を作り、よく観察をし、何が必要か考えていくということと、関わることを楽しむことだなということです。私たちの思いや感情はご利用者様にも伝わります。これは私が一番学び、深く反省したところでもあります。

まだまだ、至らない点も多く、ご迷惑をおかけするかと思いますが、これからも明るく笑顔で日々を受け止めながら前進していきたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。

職員奮闘記

津田 益雄支援員
勤続年数：6年目
わかばグループ
サブリーダー

この奮闘記の話をいただいて、さて困りました。私は、この職業に就くまで福祉の勉強はしたことがなく、ましてや他の支援員の方と違って福祉に対する「思い」「理念」があった訳がなかったからです。私の場合は他愛のないことがきっかけでした。それは、窓から始まりました。以前勤めていたパン工場の前には高齢者施設が建っていました。毎日の日課として手洗い場に行くのですが、その窓から、職員がご老人と楽しく話をしている高齢者施設の光景が見えました。そんな光景を見ているうちに私もあの光景の一部になりたいと思い始め、気づいた時にはヘルパー養成講座の門を叩いていました。無事ヘルパーの免許も取得し、さあ働こうと思ったのですが、何処に行けばいいのか迷っていたところ「チャレンジめいとくの里」の募集が目に留まり、運良く入職する運びとなった訳です。

最初に配属されたグループが「あおぞらグループ」でした。今思えばこのグループに配属されたことが今の私が存在するのだと思います。「あおぞらG」では、EM班に入り暑い日も寒い日も毎日別棟に通いましたが、ご利用者様は不満も漏らさずに毎日通われ関心しきりでした。EM班には、女性のご利用者様がおられ、その方と接している内に靴を並べることが苦手だと分かりました。それからは、毎日靴を並べるよう声掛けを行いました。10か月後のある日のこと、いつものように声を掛けようとした矢先、自分で靴を並べておられました。今でもはっきりとその光景は憶えています。そのことをグループ担当支援員に伝えると、その日のグループ日誌に「称賛」との見出しで載っていました。しかもアンダーラインまで引いてあったのです。それを見たとき彼女を誇らしく感じ、とても幸せな気持ちでした。この出来事が、この世界に身を置きたいと思ったきっかけでした。

その後、新規立ち上げの「オーパスG」に配属になり、一からのグループ作りに参加する機会が与えられ、またご利用者様を担当することもこの年からでした。担当ご利用者様、ご家族、活動内容すべてが初めてで毎日が目まぐるしい日々でした。失敗ばかりする毎日でしたが、2年間「オーパスG」に在籍し、これもまた少し自信を付けることが出来ました。

そして今年度からは「わかばG」に配属されました。「わかばG」のご利用者様はこれまでより、一そう心に寄り添うことが必要な方々だと感じています。まだ私は十分に寄り添うことが出来ていませんが、何年後かに、あの日々があったからこそ今の自分があるのだと自信を持って言えるようになれたらと思っています。ここまで振り返ってみると色んなきっかけがあって今の自分があるのだと感じています。これからも様々な方々と出会い様々な経験をして、一支援員一人の人間として成長出来たらと思います。余談ですが、隣の芝生が青く見えて退社した会社ですが、今でも好きですし、その会社のパンを食べています。美味しいですよ。最後まで読んで頂きありがとうございます。

我らピンクレンジャー

普段、送迎で活躍している送迎スタッフ!!ただそれだけじゃないということを今回ご紹介します！

現在、熊本市を中心に合志町、菊陽町と平日8便の送迎ルート送迎を実施。その中で、帰園後は施設周辺の環境整備と施設内の清掃、車両点検を行っていただいています。

食堂清掃

毎食事を摂る場所なので、常に清潔を心がけています。ご利用者様が気持ち良く
食事が出来るように頑固な汚れも逃さず心を込めて清掃しています。

浴室清掃

脱衣所や浴室・浴槽など綺麗な状態で使っていただくために、
毎日綺麗に磨きあげています。

建物周り清掃

施設周辺の清掃は、雨の日でも風の日
でも欠かさず実施しています。

車両点検

車に詳しいスタッフ!
毎日の安全のため、
細かく車両を点検しています。

第10回 めいとくフェスタ

たくさんのご来場、ありがとうございました。

1月1日土曜日、第10回めいとくフェスタを開催しました。天気が心配されましたが、たくさんの方にご来場いただきました。誠にありがとうございます。ステージイベントでは、3B体操、おひさまクラブの演奏、北部幼稚園の演技、さくらグループのワンマンショー・ダンス、わかばグループのタップダンス、ディスコがあり、会場を盛り上げてくれました。

当日雨天の関係で、時間を短縮することになりましたが、近隣の皆様のご理解・ご協力と様々な関係機関の皆様にご支援をいただき、無事に開催できたことをお礼申し上げます。

嘱託医就任の御挨拶

平成26年11月から、嘱託医として月に1回程ではありますが、チャレンジめいとくの里に伺うことになりました。利用者の皆様の心身の健康を、御家族やスタッフの方々と力を合わせて見守らせて頂きたいと思います。よろしくお願いします。

くまもと発育クリニック
院長　岡田 稔久

SOCIAL WELFARE COMPANY
MEITOKUKAI

社会福祉法人　明徳会

障がい者支援施設
チャレンジめいとくの里
生活介護　施設入所支援
短期入所　日中一時支援

〒861-5503　熊本市北区明徳町707-1
☎096-215-9101 FAX 096-245-2344
mail　c.meitoku@meitokukai.jp

ゆめくらしワークス事業部
就労移行支援　生活訓練
就労継続支援B型

☎096-215-9103 FAX 096-273-6343
mail　meitokunosato-works@meitokukai.jp

障がい者グループホーム
ゆめくらし事業所 orangehouse
共同生活援助

〒861-5503　熊本市北区明徳町948-1
☎096-223-5161 FAX 096-245-5951
mail　yumekurashi-orange@live.jp

地域生活支援センター チャレンジ
相談支援事業

〒861-0132　熊本市北区植木町植木163-1-1F
☎096-227-6450 FAX 096-227-6451
mail　meitoku-challenge@live.jp

明徳会ホームページ　http://www.meitokukai.jp

Challenge News チャレンジニュース No.86 2015 01 チャレンジめいとくの里
発行日／平成27年1月20日　発行：社会福祉法人 明徳会　発行番号86号
〒861-5503 熊本市北区明徳町707-1　TEL：096-215-9101　FAX：096-245-2344　印刷：株式会社トライ